

森林総合研究所という国の機関があります。いまは独立行政法人というのかな。20年にわたって北茨城市の小川地区に入り、山や森、生物の研究をつづけています。8月末、成果を地元で報告するシンポジウムが開かれました。その貴重な内容については別の機会で紹介するとして・・・。

発表で「ナラ枯れ」という言葉が出てきたので、後からネットで検索してみました。以下は、ときどき転載している「農業情報研究所」からの抜粋です。

<http://www.juno.dti.ne.jp/~tkitaba/index.html>



## 「全国ナラ枯れ情報」から

遅ればせながら今年9月初めに伝えられたように(激烈なナラ枯れに襲われた山形・飯豊山麓)、日本の山林がナラ枯れ病の巨大な波に襲われている。山地の生態系と山村生活に破滅的影響を与えかねない“非常事態”で、頻発する熊の危害とも無縁ではなさそうだが、一般の関心は、まだまだ薄い。各地で展開されるようになった里山保全運動もこの問題には手が及ばない。このままでは、いかなる山村対策も無に帰する恐れがある。

この問題に対する国民的関心が高まることを願い、各地に広がるナラ枯れに関する最新情報を継続的に紹介していきたい。(08年10月6日)

### 山が病気にかかっています

08.9.9

ナラ枯れ病の蔓延が次のステージ(悪化の段階)に進んだのだ。5、6年前から知る人の中で騒がれ始めたナラ枯れ病は、ナラ(どんぐり)の仲間でもミズナラという比較的湿潤な谷周辺に多い種類にほぼ限定されて蔓延し今では明らかに美山の森の50%以上のミズナラが枯れ、絶滅に向かっている。そのナラ枯れ病は一部の学者はミズナラにしか蔓延しないといていたにもか

かわらずここ数年では、ミズナラ以外のナラ(どんぐり)の仲間、コナラ、クリなどにもうつり始めた。そうして今年、コナラのナラ枯れ病が大ブレイクした。・・・

<http://earsh.earthblog.jp/e429.html>

### ツキノワグマの捕獲・放獣・捕殺について 08.9.14

石川県では古来からあるミズナラの50～80%が枯れて死んでしまっているのです。・・・過去には大木のみが枯れ、若い木は枯れないという説でしたが一里野近辺では、樹齢十数年の若い木まで枯れ始めています。これは、かなり深刻な事態です。

<http://plaza.rakuten.co.jp/ishikawa2004kuma/diary/200809140000/>

### 栗東でも初確認 被害拡大懸念 08.9.26

滋賀県北部から被害が広がっている里山のナラ類などが集団で枯れる「ナラ枯れ」が9月上旬、栗東市の栗東自然観察の森でも初めて確認された。早期に発見したため被害はコナラ3本だけだが、県南部への被害拡大が懸念されている。(京都新聞)

### 被害が拡大、佐渡 08.9.29 佐渡島内の「ナラ枯れ」被害が昨年

より1万本以上多い約2万9000本に上っていることが、18日までに県佐渡地域振興局林業振興課の調べで分かった。被害は25日にトキの試験放鳥が予定される佐渡市新穂正明寺周辺にも広がっている。同課は「トキを含む生物環境に大きな影響を及ぼすとは言えない」としているが、ナラはトキが営巣木として使う可能性もあるため、専門家からは被害の防止対策を求める声が出ている。(新潟日報)

### 里山むしばむ 山形で猛威 奥羽山系に迫る 08.10.2

紅葉にはまだ早いのに山形県や福島県で里山の木々が赤茶に変色し、痛々しい姿を見せている。原因はミズナラやコナラなどが集団枯死する「ナラ枯れ」。特に山形の被害が大きく、1991年に沿岸部で確認されて以来、ほぼ県全域に広がった。今年は奥羽山脈沿いまで迫り、宮城県入りも懸念される勢いで、専門家は「既に激害状態」と警告している。(河北新報)

### ナラ枯れ 08.10.5

薪調達に行く野沢温泉村の山だが、今年はナラ枯れ病が広がっている。昨年は県境の新潟県側で目立ったが、今年は長野県側にもかなり進んで来た。・・・  
[http://scouting.blog.ocn.ne.jp/test/2008/10/post\\_c0b7.html](http://scouting.blog.ocn.ne.jp/test/2008/10/post_c0b7.html)